

学芸員課程（2024年度以降入学生）

学芸員課程は、美術館・博物館などにおける学芸員をめざすための課程です。受講にあたっては、別途手続きや費用が必要になり、また科目の履修方法についても多くの要件がありますので、下記の事項をよく読み、理解をした上で受講をしてください。

➤ 教育目標（育成する人材像）

資料の収集、保管、展示、調査研究、教育普及活動等の博物館活動に従事する学芸員としての資質・能力を有する人材を育成する。

➤ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

学芸員として求められる下記4つの事項について、これらを身につけることを目標とする。

1. 資料およびその専門分野に必要な知識および研究能力
2. 資料の収集・保管・展示等の実践技術
3. 資料等を介して、あるいは来館者との直接的な対話等において高いコミュニケーション能力を有し、地域課題の解決に寄与する教育活動等を展開できる力
4. 住民ニーズの的確な把握と住民参画の促進、これに応える事業等の企画・立案から評価、改善まで、一連の博物館活動を運営管理できる能力

1年次で美術史を履修し、学芸員にとって必須の基礎的素養を身につける。2年次で受講登録をし、3年次までに博物館に関する科目19単位中、18単位までを履修し終える。4年次でそれまでに修得した理論を実践に移す場として館園実習に出かける。

上記と並行して、周辺分野として必要とされる美術史、文化史、考古学、民俗学の各分野について学修する。

1 学芸員課程の受講にあたって

学芸員課程の受講にあたっては、単に授業のみを受講して資格取得をめざすだけにとどまらず、より深く幅広い知識を得ること、社会に出る一人の人間としての常識を身につけることが必要です。

4月はじめに新入生向けの資格課程ガイダンスを行ないます。学芸員課程の履修を希望する人は必ず出席してください。

2 学芸員課程の履修スケジュール

学芸員課程の科目履修の学年ごとの科目配当を下表に示しました。

このなかには3年次終了時点で履修を終えておかなければならない科目が設定されており、また在学中に必要な科目の履修を終えられなかった場合には卒業後にその科目を履修することはできません。したがって、履修をはじめるときにあたっては、あらかじめ各年次の履修計画をきちんと立てた上で履修を行なうようにしてください。

履修年次	博物館に関する科目（19単位）		関連科目（10単位以上選択必修） うち美術史1、美術史2は1または2年次での単位修得が望ましい
1年次			
2年次	博物館概論 博物館資料論	博物館情報・メディア論 博物館教育論 生涯学習概論	
3年次	博物館経営論 博物館実習1	博物館資料保存論 博物館展示論	
4年次	博物館実習2		

3 博物館実習について

博物館実習は授業時間内に行う実習（「博物館実習1」）と、本学美術館や学外の美術館・博物館で行う館務実習（「博物館

実習2)があり、本学では3年次に「博物館実習1」を、4年次に「博物館実習2」を履修します。

「博物館実習2」については、3年次の12月にガイダンスを実施しますので、4年次に「博物館実習2」を履修予定の方は必ずこのガイダンスに出席してください。出席していない場合は「博物館実習2」の履修を認めません。

●「博物館実習2」の履修要件

この科目は4年次に履修しますが、3年次終了時点で下記要件を満たしていなければ履修できません。

3年次終了までに以下の要件が揃うようあらかじめ履修計画を立てて学習を進めるようにしてください。

- ①博物館概論、博物館資料論、博物館経営論、博物館実習1を含む7科目14単位以上を修得していること。
- ②上記以外の博物館に関する科目や、関連科目の単位が4年次終了までに修得できる見込みであること。

4 学芸員課程の受講方法

学芸員課程の受講登録は2年次のはじめに行ないます。

●受講登録:2年次の春

●受講登録要件:

①芸術教養科目「美術史1」「美術史2」の単位を修得すること

美術史は学芸員として働くために必要な基本的知識の1つです。本学では学芸員課程の履修にあたり、美術史の知識の習得を推奨しています。学芸員課程の履修を希望する場合は、1年次または2年次で「美術史」を履修登録し、単位を修得してください。

②学芸員課程履修ガイダンスに出席すること

1年次の年度末に、学芸員課程履修についてのガイダンスを行ないます。履修開始にあたっての詳しい手続等を説明しますので、履修希望者は必ず出席してください。ガイダンスの日時・場所等の詳細については決まり次第、ガイダンス特設サイト等を通じてお知らせします。

●受講登録手続:

①履修登録

シラバスの内容やガイダンス資料をよく読んだ上で、学芸員資格に必要な科目のうち、その年度に履修する科目を登録してください。履修登録にあたっては、事前にエントリーが必要な科目もありますので注意してください。

②申込用紙の提出と受講料の納入

新2年次にガイダンス時に配布する「学芸員課程受講料納入書」に必要な事項を記入し、教学事務室の証紙販売機で「学芸員受講料」の証紙を購入、貼付して教務窓口へ提出。

※締切までに受講料の納入がない場合は、学芸員課程の履修を放棄したものと見なし、博物館に関する科目の履修を取り消します。

●受講料:35,000円

※2年次の履修開始時に一括納入していただきます。途中で履修を中止した場合も返金はありません。

5 履修にあたっての注意事項

クラスルームを必ず確認してください(2年次以降)

学芸員課程の受講や科目に関する連絡事項は全て「〇〇年度実習生」とついたクラスルームにてお知らせします。学芸員課程受講者は定期的に確認するようにしてください。

ただし、学芸員資格のために芸術教養科目を履修している場合は、芸術教養センターからの連絡も確認するようにしてください。掲示等の見落としにより不都合が生じた場合は受講生自身の責任となります。

1年次については在学生専用サイト(ガイダンス特設サイト含)等やA-portal上で新2年次の学芸員課程ガイダンスの日時等見逃さないよう確認をしておいてください。

6. 学芸員資格取得要件科目

■博物館に関する科目

学芸員課程受講者のみ履修できます。卒業に必要な単位として、教職に関する科目（教職課程）と合わせて12単位まで認定します。

講義コード	授業科目名	履修年次	単位数	備考
	博物館概論	2年	2	2025年度開講予定
	博物館資料論	2年	2	2025年度開講予定
	生涯学習概論	2・3年	2	2025年度開講予定
	博物館資料保存論	2・3年	2	2025年度開講予定
	博物館展示論	2・3年	2	2025年度開講予定
	博物館情報・メディア論	2・3年	2	2025年度開講予定
	博物館教育論	2・3年	2	2025年度開講予定
	博物館経営論	3年	2	2025年度開講予定
	博物館実習1	3年	2	2026年度開講予定
	博物館実習2	4年	1	2027年度開講予定

■関連科目

芸術教養センター開講の「美術史1」「美術史2」の履修および、4つの区分「文化史」「美術史※芸教の美術史」「考古学」「民俗学」よりそれぞれ2単位以上単位修得すること。

授業コード	科目名	履修可能年次	単位数	要件	区分	開講先
	文化史1	2年次以降	1	合計2単位修得	文化史	
	文化史2	2年次以降	1			
	芸術史講義（日本）3	2年次以降	2			
	芸術史講義（日本）4	2年次以降	2			
	芸術史講義（アジア）3	2年次以降	2			
	芸術史講義（アジア）4	2年次以降	2			
	芸術史講義（ヨーロッパ）3	2年次以降	2			
	芸術史講義（ヨーロッパ）4	2年次以降	2			
	芸術史講義（近現代）3	2年次以降	2			
	芸術史講義（近現代）4	2年次以降	2			
	美術史1	1年次以降	1	美術史1、2の単位修得およびその他選択科目とあわせて合計4単位修得	美術史	芸術教養センター
	美術史2	1年次以降	1			
	工芸デザイン論1	2年次以降	1			
	工芸デザイン論2	2年次以降	1			
	現代アート1	2年次以降	1			
	現代アート2	2年次以降	1			
	芸術史講義（日本）1	2年次以降	2			
	芸術史講義（日本）2	2年次以降	2			
	芸術史講義（アジア）1	2年次以降	2			
	芸術史講義（アジア）2	2年次以降	2			
	芸術史講義（ヨーロッパ）1	2年次以降	2			
	芸術史講義（ヨーロッパ）2	2年次以降	2			
	芸術史講義（近現代）1	2年次以降	2			
	芸術史講義（近現代）2	2年次以降	2			
	考古学1	2年次以降	1	合計2単位修得	考古学	
	考古学2	2年次以降	1			
	民俗学1	2年次以降	1	合計2単位修得	民俗学	
	民俗学2	2年次以降	1			